

## 自分を大きく変えた留学

留学先：アメリカ合衆国

アラスカ大学フェアバンクス校

留学期間：2019年8月～2020年3月

いしざき ねお  
石崎 音緒

札幌市立手稲東小学校教諭

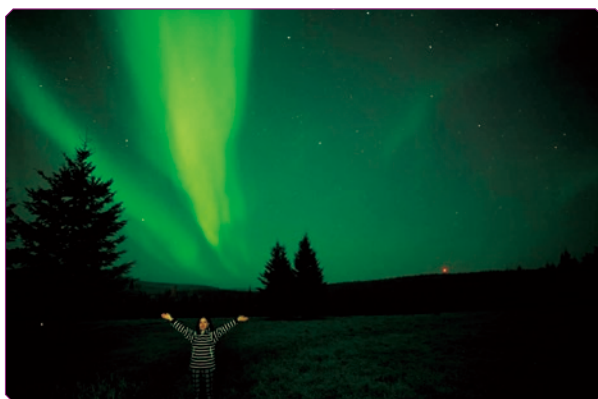
札幌校 教員養成課程 言語社会教育専攻  
英語教育分野 2022年3月卒業

私が留学しようと思ったきっかけは、高校生生の時に参加した北海道教育大学のオープンキャンパスです。大講堂で留学経験者が現地での経験について発表していました。どの発表も素敵で、私も留学してみたいという気持ちが強まりました。

私は現在、札幌市の小学校で教員をしています。時々、中学校や高校の英語教師ではなく、なぜ小学校を選んだのか尋ねられる事があります。実際、私は4年生の担任で、学級で行う外国語活動の授業は週に一度程度です。それでも小学校を選んだのは、子どもたちに早い段階から英語学習の楽しさに気づいて欲しいからです。

私が小学生の頃、英語でのカードゲームや、歌などで英語や海外の文化にたくさん触れることができました。そのおかげで、英語学習を楽しく続けることができました。私のように早い段階から英語に楽しく触れることで、英語や海外の文化に興味をもつ子どもたちが増えてほしいと考えています。

また、留学の経験は、様々な教科で生かすことができます。社会の除排雪についての勉強では、「先生が留学していたアラスカは、札幌みたいに雪が多いの？」と質問されまし



オーロラ鑑賞

た。意外と雪は少ないことや、雪もパラパラとしていて握っても雪だるまが作れないことが話せました。経験していないと絶対に話せないことだったと思います。

最後に、留学を目指す皆さんへのメッセージです。留学は間違いなく皆さんの人生を変える大きなきっかけになります。私は自分に自信がなく、いつも不安に感じてしまう性格でしたが、留学を通してかなり成長することができました。例えば、現地の学生とスピーチを発表しあうクラスに参加したり、1人で北極圏へのツアーに参加して他の参加者に話しかけたりするなど、環境が変われば以前の自分では難しいことにも挑戦できました。今でも留学での経験は、私の自信になっています。留学を迷っている方はぜひ、留学に挑戦してみてください！



北極圏へのツアー



## 特別な経験を 子どもたちに伝える

しゃもと のぞみ  
**社本 希**

七飯町立七重小学校教諭

旭川校 教員養成課程  
国語教育専攻 2021年3月卒業

子どもに夢を与えるために私が留学を決意したのは、大学1年生の冬休み。大学の授業で4泊5日の上海旅行に行ったときでした。今まで持っていた中国人への印象が変わり、自由かつ親かな人柄に憧れました。周りの目を気にしていた私は、中国で自分を変えたいと思うようになりました。中国人や他の国の留学生と過ごしていく中で、感じたのは「一つでも武器を持つこと」「自分をさらけ出して、売り込むこと」です。日本人は協調性を大事にします。他の国は、自分をアピールしたものの勝ちです。自分で未来を切り開いていく姿に感銘を受けました。私は大学で書道を学んでいたの、それを武器にして、みんなに自分のことを知ってもらえたと、多くの活躍の場をいただきました。周りの目を気にしていた自分も、自分に目を向けて自信を持つことができました。自分の武器を一つでも作って発信することで、社会に出ても新しい経験を掴み取ることができるに違いありませんし、留学でしか味わえない特別な経験を子どもたちに伝えることができます。私は、「夢を持って過ごすことができるように、未来の選択の幅を広げてあげる」のが教



紅葉狩りに。色々な国の留学生と

留学先：中国

瀋陽師範大学

留学期間：2019年3月～2020年1月

員の役目だと思っています。留学は、見方を広げるための素敵な経験です。授業中に学んでいることは「日本の当たり前」だけど、世界はもっと広い。「中国ではこうだったよ。」という一言だけで、子どもたちの視野はすごく広がるし目を輝かせて話を聞いてくれます。苦手なことも得意なことも学校では学ばないといけないけれど、将来大きくなったら、自分の得意なことを生かせる場所で働いてほしい。その場所は日本に限らずとも自分に合うところを選択してほしい。様々な夢や選択肢を持って過ごすことができるよう今後も教壇に立っていきたいです。必ず、留学は自分の糧になります。私は1年卒業が遅れましたが、それよりも大きなものを得ることができました。ぜひ、留学に挑戦してくださいね！



京劇体験

# 海外留学 Q & A

**Q** 留学先の単位は認定されますか？

**A** 留学先大学で修得した単位を、本学の単位として認定する制度があります。留学先大学で成績証明書、講義概要（講義の内容、受講時間数がわかるもの）などの書類を受け取り、帰国後に必要な手続きを行ってください。修得した単位すべてが自動的に認められるのではなく、本学の審査を経て認定されるかどうかが決まります（授業の内容によって認められない場合もあります）。

**Q** 長期で留学するとしたら、4年間では卒業できないのでしょうか？

**A** 交換留学の場合、留学期間中における本学での在籍身分は「留学」として取り扱われ、卒業に必要な年数（在学年数）として算入されます。所属する専攻のカリキュラムや海外の大学で修得した単位の本学での認定数によっては、4年間の卒業も可能です。ただし、令和5年度以後の教育養成課程入学者及び複数の教員免許状取得を目指す場合は、4年間での卒業が困難な場合がありますので、学生指導教員や教育支援グループ（札幌校は教育企画課）によく相談し、授業の履修計画と留学する時期・期間を十分検討してください。

**Q** 留学にかかる費用はどのくらいですか？

**A** 交換留学の場合、留学先大学への授業料はかかりません（本学での授業料は徴収されます）が、滞り宿舎の形態、国・地域の物価等により、1年の留学にかかる費用は大きく異なります。留学先大学のHPで調べたり、教育支援グループ（札幌校は国際課）で留学アンケートを閲覧したりしてください。また、数週間の短期プログラムの場合は派遣先の国や地域、留学期間により異なりますが、プログラム費・食費・宿泊費を合わせて約10～30万円弱です（渡航費は別途かかります）。

※各キャンパスの後援会・基金から留学支度金が給付されます（キャンパスにより金額は異なります）。

**Q** TOEFL や IELTS などの語学試験はいつ受ければよいのでしょうか？

**A** 英語圏の協定校は、学内申請の時点で協定校の基準を満たした語学スコアを持っている必要があります。1回の受験で目標点を取れるとは限らないため、留学を希望する学生は、1年生のうちからTOEFLやIELTSを受験することを強くおすすめします。

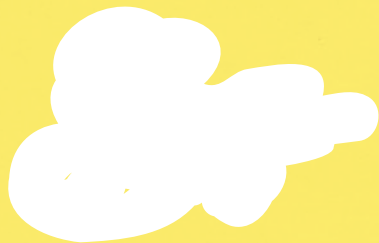
**Q** 交換留学の選抜の基準は？

**A** 語学力はもちろん、北海道教育大学を代表する交換留学生としてふさわしいかどうか、目的意識がはっきりしているのかなど総合的に判断します。

## 留学に関する相談

留学に関する相談は、各校の教育支援グループ（札幌校は国際課）で受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。





---

## 北海道教育大学 海外留学ハンドブック

---

令和5年3月発行

編集・発行／北海道教育大学国際交流・協力センター  
〒002-8501 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号  
TEL：011-778-0645／FAX：011-778-0675  
E-mail：g-kokusai@j.hokkyodai.ac.jp  
URL：https://www.hokkyodai.ac.jp/international/

